



## 岡山藩支藩鴨方藩 鴨方往来を歩く 〈浅口市鴨方町〉



かもがた町家公園 旧高戸家「伝承館」(西から) 「交流館」(東から)

岡山藩の支藩鴨方藩の御用場（後に陣屋）があった辺りに残る鴨方往来を訪ねました。鴨方往来は岡山藩の官道の一つで、城下から庭瀬、玉島を経て鴨方にいたり、さらに笠岡を経て福山まで続いていたそうです。現在、江戸時代初期の商家を改修し「かもがた町家公園」として公開されている高戸家住宅を中心に歴史を物語る史跡などを紹介します。

## お知らせ

今回は、浅口市鴨方町を紹介します。鴨方には江戸時代の面影を伝える「かもがた町家公園」があり、その前をはしる道がかつての鴨方往来です。

公園脇には鴨方往来を示す石標があり、その前面に大きな駐車場があって町歩きに便利です。高戸家本家の屋敷は商家の邸宅の造りがわかる「伝承館」、分家の屋敷はカフェや座敷を借りて利用できる「交流館」として公開されています。高戸家は江戸時代初期に奈良から来た商人で、油を商っていたそうです。

鴨方支藩は岡山藩初代藩主池田光政の次男まさこと政言を藩祖とする支藩で、通常は岡山城下の天神山にあった藩邸に住まい、鴨方には御用場を置いて治めていました。その御用場の跡には石垣が残されています。

また、「鴨方に過ぎたるものが三つある。拙斎、索我、宮の石橋」という里謡があり、学者や文人を輩出したことでも知られています。

4月の内田百閒文学賞の表彰式、5月の文化財団会員作品展に続き、6月に鴨方への研修会を予定しています。

## 郷土文化財団の主な事業

### 守る ー自然・文化財保護事業ー

特別名勝岡山後楽園の管理運営  
延養亭特別公開の実施  
特別天然記念物タンチョウの飼育

### 伝える ー先賢の顕彰と出版事業ー

犬養木堂記念館・岡崎嘉平太記念館の指定管理  
内田百閒記念碑園の管理／岡山県庁分庁舎「百閒コーナー」への展示  
岡山県「内田百閒文学賞」の実施／受賞作品集の発行

### 楽しむ ー文化事業ー

現地研修会・郷土文化講座・特別解説会の開催  
会員作品展の開催  
広報誌『きび野』・講演集『岡山の自然と文化』の発行

**岡山県郷土文化財団は会員を随時募集しています。**



会員証のご提示で、県内の連携のある文化施設の常設展入館料が割引されます。

問い合わせ先

(公財) 岡山県郷土文化財団

〒700-0822 岡山市北区表町1-7-15 702号

TEL: 086-233-2505 FAX: 086-232-4329

E-MAIL: o-bunka@utopia.ocn.ne.jp